

超高压電動ポンプ 取扱説明書

保証書付

BTP-12、BP-12

この度は、超高压電動ポンプをご購入頂き、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上ご使用下さい。

DC(直流)12Vでご使用下さい。**連続 10 分以上は使用しないで下さい。**

安全にご使用いただくための注意事項

必ずお守りください

この度は、ハイツレッシャー対応電動ポンプ BTP-12、BP-12をご購入頂き誠にありがとうございます。この製品をご活用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。

また、この取扱説明書をお読みになった後は、ご使用になる際にいつでも見られるよう大切に保管して下さい。

取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しております。下記の表示をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守り下さい。

⚠ 危険 死亡または重傷につながる差し迫った重大な事故を未然に防ぐ

⚠ 警告 死亡または重傷につながる可能性がある事故を未然に防ぐための事項を示しております。

⚠ 注意 軽症または製品や物品の損傷につながる可能性がある事故を未然に防ぐための事項を示しております。



海の「もしも」は
118番

海上保安庁緊急通報用電話番号

①各部名称

BTP-12



アダプターセット
1番～8番
(7番を除く)

※ジョイクラフトポートに合う
アダプターは2番です。



BP-12



アダプターセット
1番～8番
(7番を除く)

※ジョイクラフトポートに合う
アダプターは2番です。



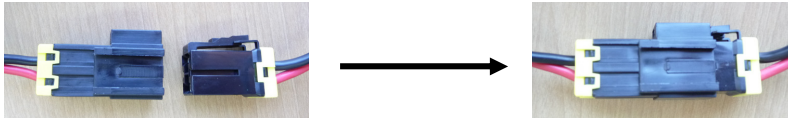
②空気注入の手順

1. ポート側のバルブに合うアダプターをアダプターセットの中から選び、ホースの先端に取り付けます。

ジョイクラフトポートに合うアダプターは「2番」になります。

- ◇ エアバルブCのポートをご使用の場合は「8番」アダプターを選び取付けて下さい。
- ◇ ご使用前に更にホースの奥まで差し込んで下さい。また、外れた場合には再度取付けてご使用下さい。

2. 電源コードのソケット部分をしっかりと差し込んで取り付けます。



3. ポンプ本体の電源コードを※直流(DC)12Vのバッテリーに接続します。

- ※ 電源コードは赤色が(+)、黒色が(-)です。
- ※ バッテリーは十分に充電した状態でご使用下さい。
- ※ 車のバッテリーから電源を取る場合、車のエンジンを始動した状態でご使用下さい。その際、お取扱には充分にご注意下さい。
- ※ 車のシガーソケット、家庭用電気(AC)から電源を取ることは出来ません。故障の原因になりますので充分にご注意下さい。
- ※ 別売 バッテリーキット(BK)をご使用頂けます。

4. ポンプの空気排出口にホースの接続口を右回りにおじて取り付けます。

5. ホースをポート側のエアバルブに差し込んで接続します。



・ジョイクラフトポートにご使用の場合(「2番」アダプター)

- ◇ エアバルブの空気逆流防止弁を閉じた状態にし、ホースアダプターをエアバルブに接続します。
- ◇ ホースアダプターを十分に差込むと自動的にエアバルブの弁が開いた状態になります。
- ◇ ホースアダプターを外すと自動的に弁は閉じます。

・他社のポートをご使用の場合(アダプターセットから合うアダプターを選ぶ)

- ◇ 一般的には弁を開いた状態にし、空気を注入します。各社のエアバルブの特性に合わせてご使用下さい。

6. 圧力設定位置

ダイヤルの矢印を指定圧力に合わせます。

BTP-12



BP-12



圧力換算表

種類	設定圧力(バール)	設定圧力(ミリバール)
ポート本体チューブ	0.2~0.25バール	200~250ミリバール
エアキール	0.35バール	350ミリバール
高圧エアフロア	0.5バール	500ミリバール

- ◇参考 : 0.1bar(バール) = 100mb(ミリバール)
10kpa(キロパスカル) = 0.01Mpa(メガパスカル)
- ◇単位 : bar(バール) 黒色の数字
psi (ポンド) 赤色の数字
- ◇最大吐出量 : 低圧時: 450L/min
高圧時: 160L/min

⚠ 注意

- ◇指定された圧力になるとポンプは自動で停止します。
- ・最初は低圧部分の空気が充気されます。(音: ヒューン)
- ・低圧の空気が入りきると、高圧に切り替わります。(音: タタタタ)この時、初めて針が動きます。
- ・指定圧力に達すると自動で止まります。
※ 指定圧力に達すると必ず止まりますので、途中でスイッチをOFFにしないで下さい。
- ・ホースが折れ曲がったまま使用しないで下さい。故障の原因となります。

⚠ 危険

低圧のまま高圧に切り替わらず、ポンプが自動で停止しない場合、手動でOFFスイッチを押して止めて下さい。また、販売店またはジョイクラフトへご相談下さい。

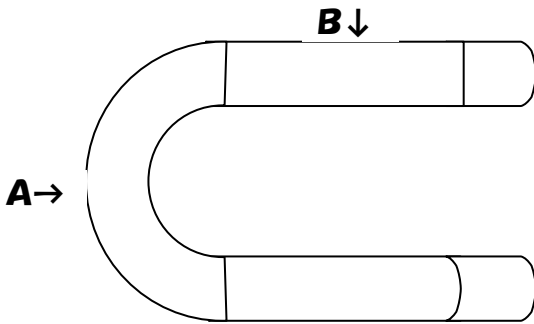
③ 空気を充気する順序

1. チューブ本体

① B→C→A(80%注入) ② A→C→B(100%)

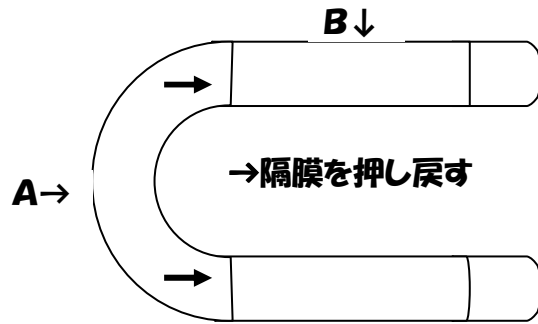
↓

※①と順序を逆にする。



C↑

1回目 80%注入時 100mb程度



C↑

2回目 100%注入時 200~250mb程度

B→C→A

A→C→B ※1回目と順序を逆にする

↓

2. エアフロア

↓

3. エアキール(V型、一体型エアフロにはありません。)

- ※ 1回目と2回目では空気を注入する順序を必ず逆にして下さい。1回目と2回目を同じ順序で注入すると隔膜が破損(貫通)する恐れがあります。
- ※ 上記の順序で空気を注入した場合、最後の気室には空気があまり入らない場合があります。これは正常に隔膜が押され、最後の気室の圧力が上がったためです。
- ※ 空気は温度により膨張します。天候により調節し、十分に注意してご使用下さい。

⚠ 注意

- ・ポートメーカーが指定した圧力以上に絶対充気しないで下さい。高压ポンプの為、ポートが破損することがあります。
- ・ホースが折れ曲がったまま使用しないで下さい。故障の原因となります。ご使用の際は、折れ曲がった部分を軽くつぶし、太さを均等にしてからご使用下さい。



④ 排気に使用する場合

ボートの排気にも使用できます。

1. エアバルブは逆流防止弁が開いた状態(ボタンが下がっている)にします。
2. ダイアルは 0.1b(100mb)にセットします。
3. ホースをポンプ側の吸引口にセットします。
4. ホースをボート側のエアバルブに接続し、ONボタンを押しポンプを作動させます。
5. 手動でOFFボタンを押し、作動を停止させます。

※ 圧力設定ダイアルは排気の場合作動しません。



⑤ フィルターの手入れ方法 (BTP-12のみ)

本機は吸気口の内部にフィルターを内蔵しています。

フィルターと吸気口の内部を清潔に保つことで、機械の寿命と効率性が向上します。

1. 黒色の吸気口カバーの 2 本のネジを外し、カバーを取り外します。
2. 高圧の空気でフィルターと吸気口内部の汚れや異物を取り除きます

※ 汚れがひどい場合はフィルターを交換して下さい。

⚠ 注意

・空気を注入・排気する場合、ポンプホース(アダプター)をエアバルブに接続してからスイッチを入れて下さい。

※ 先にポンプを作動させてからホースをエアバルブに接続するとポンプのセンサーが誤作動し故障します。

・ポンプのダイアルの目盛りはb(バール)を黒色で表示してあります。

※ 0.1b(バール) = 100mb(ミリバール)です。 ※換算表を参照して下さい。

※ 目盛りはプラス・マイナス 10%ほどの誤差があります。

・各社エアバルブの種類により圧力差が発生する事があります。0.2~0.3 バール程度を誤使用のエアバルブに合わせ調整して下さい。

⚠ 危険

本機はハイスレッシャー対応フロアですので、適正な圧力設定をしないとボート本体のパンク・バースト事故を引き起こす要因となりますので十分に注意して下さい。

⚠ 注意

バッテリーの電圧が下がると高圧への切り替えが行われません。車の場合、エンジン始動状態で使用して下さい。また、バッテリーは充分充電したものをご使用下さい。

⚠ 警告

エアの注入時、スイッチがいつまでも切れない場合や、エアの圧力が充分に入らない場合は、速やかに本体のスイッチをOFFにし、使用を中止して下さい。バッテリーの容量をチェックし、その上で不具合・不都合があった場合は販売店へご相談・お問い合わせ下さい。

⑥ 安全上のご注意

必ずお守りください

JOYCRAFT

警告

- ・ 改造、分解、修理はしないで下さい。故障、火災、感電、けがの原因となります。
※保証の対象外となります。
- ・ 電源コードのグリップをバッテリーに接続する時は、必ずグリップの絶縁カバーの上からつかんで下さい。金属部分のグリップを直接つかみますと、感電し非常に危険です。
- ・ むやみに電源コードを引っ張らないで下さい。使用中にグリップがバッテリーの端子から外れますと、ショートの原因になります。夜間にご使用の場合は特に注意して下さい。
- ・ 車のバッテリーを使用する場合は、エンジンを始動させて下さい。その際、車の冷却ファン、電気系統、ボンネットフードの落下等、ケガ、事故防止に充分配慮して下さい。
- ・ 本機は空気専用フロアです。水につけたり、水をかけたり、吸ったりしないで下さい。ポンプが故障するばかりでなく、ショート、感電の恐れがあります。尚、本機はインフレーター・フルポートのクッション用です。他の使用目的に使われますと、故障の原因になりますのでご注意下さい。

注意

- ・ DC12Vバッテリー以外の電源は絶対に使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
- ・ バッテリーは十分に充電して下さい。容量不足のバッテリーでは、高圧ポンプが作動しません。
- ・ バッテリーチャージャーへの直接接続はしないで下さい。過大な電流が流れ、ポンプが壊れる事があります。
- ・ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないで下さい。電源コードが破損し、火災・感電の恐れがあります。
※ 保証の対象外となります。
- ・ コードのワニ口、コネクタは使用前に清潔であることを確認下さい。汚れていると、ポンプが正しく作動しないことがあります。また、発火の原因となることがあります。
- ・ 10分以上の連続使用は絶対に避けて下さい。破損します。繰り返しご使用になる場合は本体が十分に冷めるまでお待ち下さい。
- ・ 本機を砂・ごみの上、直射日光・高温の車内等に放置しないで下さい。
- ・ 水気のある場所でのご使用は避けて下さい。乾燥した場所に保管して下さい。
- ・ 本機の注入口及び、排気口に指や異物を差し込むことは絶対にしないで下さい。

⑦ 仕様

商品名	BTP-12	BP-12
電圧/電流	DC12V/20A	
最大圧力	1bar パール(1,000mbar ミリパール)	
最大風量	450L/分	160L/分
最大連続使用時間	10分	
内蔵ポンプ	高圧・低圧	高圧のみ
重量	1.7kg	1.2kg
サイズ	290×100×150mm	210×110×130mm

※この商品は改良のため、予告無しに仕様、デザインを変更する可能性があります。